



No.1093  
 発行  
 2023年  
 3月6日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 清野 聡  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 一丸となって団結して闘う

## エリア拡大委員会 みんなの意見 その2

### 第40回国労東日本本部 拡大委員会の発言内容 その2

エリア本部拡大委員会の各委員からの発言内容です。

#### 若手社員の相談が多い

●職場の問題点について若手社員から相談が多い。勤務表の閲覧が厳しいことやコピーが禁止されている。飲み会などで国労運動について話している。  
 代表者選挙について会社は飲み会で社友会の必要性を訴えている。春闘は、全組合員が一丸となって団結して闘い、若手社員へ訴えていく。世論も味方につける広範な取り組みを進めていく。



## 94総がかりメーデー 新潟県中央集会の開催

### 2023年5月1日

- 会場 新潟県民会館 大ホール
- 日時 5月1日(月)
- 集会日程
- 開場 8時30分
- うたごえ 9時5分～9時25分
- 県中央集会 9時30分～10時45分
- デモ行進 11時～11時45分



#### 2年連続安全衛生委員に

●2023春闘アンケート調査から厳しい生活実態になっている。公共料金など値上げがあり苦しい。ベア4・8%一万三千円の要求は最低でも勝ち取ることで、定昇半減を改善させる。  
 貨物は、今年の春闘で宣伝行動

を展開する。  
 代表者選挙も立候補したが駄目だった、しかし2年続けて安全衛生委員になった。労働組合の必要性を訴え、組織化も進めていく。



## 編集後記

2月下旬ですが、西高東低の冬型が強まり雪が降りました。魚沼方面は、かなり大雪になったみたいですが、組合員の皆さんのところはどうか？  
 10℃を超える日があって、春が来たのかと喜んでいましたが、まだまだ春は遠いのでしょうか。



2月16日に「メーデー実行委員会」がありました。今年3年ぶりの開催になります。  
 そして、「総がかりメーデー」開催となります。全港湾労組・新潟地区労会議・など連合加盟組合ですが、メーデーは5月1日開催と決まっています。しかし連合は5月1日開催ではありません。会場は県民会館です。

多くの組合員の参加をお願いします。1200名規模の予定です。



# エリア拡大委員会 みんなの意見

## 職場環境を改善させ拡大へ

●職場の現状は会社が組織再編して転動となった。冬季で厳しい状況だ。職場の業務量が多くなったが職場の要員が増えていない。職場で訴えているが改善されない。

他労組から良く言ってくれたと。自分ができることをやって職場環境を改善させ組織拡大へつなげていく。地方ローカル線を守る闘いを進めている。

2023春闘は全組合員が丸一になって闘っていく。統一要求と譲れない要求をつくる。定昇2の改善を含めて要求したい。組織拡大へ影響を与えるのではないかと。最後には勝ち取ったといえるものにした。



## 労働組合の 必要性を訴える

●2023春闘は4・8%一万三千円の要求実現に向けて取り組む。代表者選挙に立候補する。労働安全衛生委員の役割も重要だ。代表委員に選出されなくても職場の問題について訴えることや労働組合の必要性を訴えていく。



## 組織拡大対策会議 & 分会代表者会議の開催

●日時 2023年 4月8日 (土) 13時～

●場所 地本会議室



会社の組織再編、営業統括センターの発足・説明はあったが要員数は示されていない。一人ひとりの業務量が増えて技術継承ができない。精神的に弱い社員は、厳しい労働環境なので休んでいる。相談できる人がいない。

## 新潟も組織拡大へ

組織拡大は新規採用者より退職者が多い。新規採用者へ国労加入をアピールしチラシを配布している。現職が減少していく中、他労組社員との飲み会など企画し継続的に拡大行動を取り組んでいる。

全体で12名の委員から発言がありました。春闘・職場の問題・組織拡大など多くの意見がありました。JR東日本は未加入者が過半数以上です。社友会に入っている社員は多数います。

国労は職場活動の中で、労働組合の必要性について訴えていると報告が多数ありました。

労働組合の必要性を訴え、国労加入につなげていく活動が報告されました。

新潟地本も委員の活動報告・拡大行動などを学び、取り組みを強化していきたいと決意しています。

地本も組対・分代が4月に予定されています。多くの組合員の出席で盛り上げていきたいと思えます。よろしくお願ひします。



## ちよっぴんぷく

●今シーズンは大雪で気温もかなり下がり厳しい冬でした。

秋山郷や津南町は今年も大雪でした。冬季間は雪で、津南や栄村へ行くことは難しいです。地元の人はひと晩で30センチや50センチ降っても除雪が万全なのでまったく不自由していません。

新潟県で除雪の技術は、津南町がトップです。その次は魚沼でしょうか。地元の新聞「妻有新聞」で記載されていました。



●写真は、トリカブト山です。秋山郷には、苗場山・サブリュウ山、そしてトリカブト山に囲まれています。真ん中に中津川が流れていてそのわきに、秋山郷の集落があります。今年も3月になったら津南町へ行ってみたいですね。津南の方々に逢いにいきたいですね。

